

補正予算

議案第3号 令和4年度長柄町一般会計補正予算(第4号)

予算現額に6,816万1千円を追加し、補正後の予算総額を42億9,479万1千円とするものです。

主な内容は、肥料等の物価高騰に対して、農家への支援金を交付するための経費や、生活が困窮する非課税世帯等への給付金に係る経費、秋以降に予定されるオミクロン株対応ワクチンの接種に向けた体制整備に係る経費などを計上するものです。

議案第4号 令和4年度長柄町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

予算現額に16万5千円を追加し、補正後の予算総額を9億6,616万5千円とするものです。

内容は本年4月に未就学児の均等割保険料の軽減措置が講じられ、これに伴うシステム改修費を計上するものです。

議案第5号 令和4年度長柄町介護保険特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出予算の総額にそれぞれ1,551万5千円を追加し、補正後の予算総額を8億1,461万5千円とするものです。

内容は、本年10月に予定される介護報酬の改正に伴い、システム改修費を計上するとともに、令和3年度分の介護給付費及び地域支援事業交付金が確定したことにより、国県への返還金を予算計上するものです。

**新型コロナウイルス感染症
予防のため傍聴席は制限さ
せていただきますのでご理
解ご協力をお願いします**

(次回定例会は12月8日(木)からの予定です。)

議会本会議の会議録を長柄町ホームページにて公開していますので、是非ご覧ください。

町民の皆様方のご意見、ご要望等ありましたら議会事務局までご連絡いただければ幸いです

問い合わせ先 議会事務局 ☎ 35-2438

一般質問

一議員6名が町政を問う一



↑ 議事録はこちら

三枝 新一 議員（二問一答方式）

月岡町長の選挙公報から質問する。

1. 福祉の充実の項目から

問 議員
長柄温泉、町営プールの無償化の具体的な内容は。

答 町長
あらゆる世代に利用可能な施設である町の資源を、より多くの町民へ還元したいという思いを理念として掲げた。今後、政策の具体化に当たり、利用状況の把握、課題等の整理を行い、理念の実現に向けて検討したい。

問 議員
公約を考えた際に、施設の利用者数、負担金のことなどが念頭にあったと思うが、長柄温

泉、町営プールの利用者は何名か。

答 企画財政課長

長柄温泉の令和3年の入館入浴者数は、町内の方で6,841名、町外の方で1,072名、合計7,913名で、券の販売額では約157万円である。

問 議員

無償化すると157万円分の収入がなくなるが、その対応は。

答 町長

今後検討していきたい。最初は全額無料はできないと思う。月に一回の無料開放デー等で検討したい。

問 議員

無償化はいつ頃を考えてい

るか。

答 町長

まだ検討中である。

2. 安全安心な町づくりの項目から

問 議員

① 通学路への防犯カメラの設置について

② 農道、町道の舗装について

③ 農業支援拡充について

内容の説明を願う。

答 町長

① 毎年行っている交通安全プログラムを実施していく中で、茂原警察署や長生土木事務所の意見を伺いながら、既存の防犯カメラの活用と併せ設置場所や台数等検討したい。

② 緊急性、必要性などの事業効果について十分精査し、また財政的な視点に立ちながら、計画的に舗装整備の推進に努めたい。

③ 肥料等物価高騰に伴う農業者支援として、地方創生臨時交付金を活用した緊急支援として交付金を支給したく補正

予算を提案した。今後も農家支援策について様々な方策を取り入れるべく、検討していきたい。

問 議員

町道の舗装延長よりは消防車が入れる程度の拡幅にウエイトを置いていただきたいと考えるが。

答 建設環境課長

町長と協議し推進が図れるかどうか、財政部局と協議しながら適切に進めたい。

3. 強いパイプで長柄町の未来を守ることに



問 議員

3角形の意味について説明願う。

答 町長

私の議会議員としての12年の中で出会った多くの方々のおかげを最大限に生かし町政に還元したいというもので

ある。

三角形は、町民を頂点として、全ては町民のためにつながって、まちを進めていくというイメージを図化したものである。

4. 長柄町の人口減少について

問 議員

人口減少をどのように捉え、どのように考えているのか。

答 町長

昨年、人口減少の抑制に主眼を置き、長柄町第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略が策定された。この理念、目標及び80の戦略的事業を一つ一つ着実に実行し、積み上げた政策との連携を図っていくことが最も重要であると考えている。

問 議員

公報に人口減少問題を載せなかったのは。

答 町長

公報に載せるところまでは考えていなかった。

本吉 敏子 議員（二問一答方式）

1. 福祉の充実について

問 議員

①高齢者（75歳以上）のための町内移動無料タクシーの実現に向けてどのように考えているか。

②健康寿命を延ばす施策の充実（介護予防、認知症予防の積極的な取組）の実現に向けてどのように考えているのか。

答 町長

①現在町では、外出支援タクシー利用助成及び福祉タクシー制度を運用している。これら現行の制度では利用料が発生するので、町内限定となるが、無料での移動手段を考えたていきたい。

②本町では、介護予防、認知症予防について各種メニューに沿って取り組んでいるところである。現在の体制の中で拡大できるメニューがあるか

検討し、まずは各種相談機関

や関係者と連携強化を図り、

複雑・多様化する相談を受け

止める包括的な支援体制の充実を図っていきたい。

問 議員

待望の新公民館が建設さ

れ、利用される町民の皆さん

や児童・生徒の皆さんは町民

バスがなく保護者の方やご家

族の方が送り迎えをしながら

公民館活動、生涯学習、学習

教室に参加をされています。

町民バスに代わる大きなバス

ではなく小型のバスの導入

で、たくさんの方が利用しや

すい交通機関を導入していた

だきたいが。

答 町長

良い方向で考えていきたい。

2. GIGAスクールについて

問 議員

GIGAスクールが始ま

り、一人一台タブレット端末と電子黒板を整備したことによって、新たな事業が展開されているが進捗状況は。

答 学校教育課長

各校とも積極的に活用し、

職員、児童・生徒も扱いに慣れてきた。

今まで取り組んできたドリ

ル学習や調べ学習、動画等の

視聴以外に、理科や社会科等

では写真を撮りレポートに貼

りついたり、体育では自分の

動き等を録画し振り返りを

行ったりしている。

また、タブレット端末と電

子黒板をリンクさせて作品を

提示したり、友達の良い点を

紹介したりして、情報の共有

化も図っている。

問 議員

GIGAスクール構想は先

生の働き方改革ということ

でもあるが、先生方の負担は

減っているか。

答 学校教育課長

新しい機器が増えると導入

当初は負担が増えてしまう。

長い目で見ていただければと思っ。

3. 带状疱疹ワクチンについて

問 議員

予防効果が期待できる带状疱疹ワクチンの助成について町の見解は。

答 町長

県からの情報提供により帯

状疱疹に関する啓発活動が行

われているので、これらの状

況を踏まえつつ、予防接種の

助成について検討したい。

4. 子育て支援について

問 議員

高校生等医療助成について、現在18歳に達する日以降の最初の3月31日までの助成方法は償還払い（一旦、医療機関に医療費を支払い、領収書を添付して町に申請だが、現物給付を提案するが町の見解は。

答 町長

先行して実施している中学

生までの子ども医療費助成は、発行する受給券を千葉県医師会、国保連合会、社保診療報酬支払い基金が協議し、医療機関での受診及び請求に関するレセプト事務ができて

いるようにシステムが構築されているため、医療費については、県内の医療機関で受診された場合、医療保険区分が国保、または社保にかかわらず、受診窓口での費用負担はない。

高校生等医療費助成は、県内全ての市町村で統一された助成がされていないことで子ども医療費助成のような取扱いができていない。現時点では本町だけで独自実施することとは困難と考えている。



鶴岡 喜豊 議員（二問一答方式）

1. 民生委員の活動について

問 議員

榎本地区の民生委員は、町長と一緒に担当地区の各家庭を訪問し、山之郷西部地区の民生委員は、期日前投票に高齢者の送迎を行い支持者の投票をさせ、担当地区以外の高齢者まで期日前投票に連れて行くこととした。これらは民生委員法第16条の民生委員は、その職務上の地位を政党または政治目的に利用してはならないと明記されており、民生委員法第16条に抵触していると考えますが、町長の考えは。

答 町長

民生委員も職務を離れて個人として政治活動を行うことまで禁止したのではない。

問 議員

個人の家を訪問する、高齢者を期日前投票に連れて行く、地区外の高齢者まで乗せて行くこととしたのは政治活動と考えないか何う。

答 町長

その方個人としての活動と考える。

2. 地方自治体の二元代表制と諮問機関について

問 議員

町内に配布された、しばた孝後援会の討議資料によると、三月議会で公民館の建設予算は可決され、九月議会で地質調査の補正予算が否決され公民館建設の事業計画は白紙撤回されたなど間違いだらけで、公民館検討委員会の答申に反対した議会は、町民不在の議会審議であると議会審議を否定し

問 議員

ており、反対したから、測量調査費に実際は約400万だが、1,400万円も税金が無駄に使われたと記載されており、無駄を誇張するために1,000万円も上乘せし、悪意を感じる討議資料である。

二元代表制とは、町長が意見を求めるため諮問機関を設置し会議、答申を求め、議会が審議、採決するのが役目で、その是非を決めるのは、主権である町民であり、そのために選挙で直接、町長と議員を選ぶものと考え

答 総務課長

る。議員が諮問機関の答申に反対したから町民不在の議会審議になる、税金の無駄使いと考えるのか町長の考えは。

問 議員

町長は、諮問機関の在り方についてどのように考えているか。

答 町長

広く住民や住民代表の意見を聞くためには、大変重要な機関であると考えている。

3. 責任世代というスローガンについて

問 議員

月岡町長が使用した責任世代というスローガンは、救

心製菓(株)の広告コピーで、商標登録されていたれば大問題だと思う。選挙公報にも責任世代の51歳と大きく掲載され、しばた孝後援会の討議資料の大岩氏は、スローガンに一貫性がないと掲載されていたが、私も一回目と二回目の選挙ではスローガンは違っており違うのは当たり前だと考えているが、それより救心製菓(株)の広告コピーを真似て、自分が考えたように使用するほうがよほど問題だと考えるが町長の考えは。

いろいろなるものを背負う世代のことで、これからの町づくりには、様々な面で積極的に町行政に参画してもらおうことで、より一層町を活性化していきたいとの思いから選挙のスローガンとした。

※「責任世代」は商標登録されていません。

答 町長

いろいろなるものを背負う世代のことで、これからの町づくりには、様々な面で積極的に町行政に参画してもらおうことで、より一層町を活性化していきたいとの思いから選挙のスローガンとした。

※「責任世代」は商標登録されていません。

神崎 清美 議員（二問一答方式）

1. 商工業への支援について

問 議員

長柄町における中小・小規模事業者、特に今後の商工業の発展に、これまでの太いパイプを活用した支援を行いたいという考えが月岡町長にあるようだが、具体的に説明願う。

答 町長

長期化する新型コロナウイルス感染症の影響により日常生活や地域経済活動への影響が多くの産業分野に広がる中、原油などエネルギー関連をはじめ、穀物や資材の高騰による社会経済への影響が深刻化している。こうした中、町内の事業者に対し、地域社会を支えていただいていることに感謝している。

太いパイプを活用した商工業への支援については、私

がこれまで、議員活動や町

商工会の役員などを務めさせていただいた間に築かれた幅広いネットワークを最大限活用し、町商工業の支援に努めていきたいと考えている。

具体的な施策は、なるべく早い段階に取り組みたい。今後、町内の商工業の活性化に寄与する支援策を、町商工会をはじめ、関係機関と連携を密にし、情報を共有しながら必要な施策を進めたい。

問 議員

町の商工業、特に個人商店や個人事業主は、後継者問題、事業承継の課題を抱えている。あと10年を超える、と、どれだけの個人商店、事業主が残っているか分からない状況にある。恐らく今より増えることはないと思う。地域の高齢者が今まで身近な商店で買物ができて

いたものができなくなると、いわゆる買物難民の発生にもつながると思っている。

今回は、町の商工業者も協力する移動販売について、担い手として起業したい移住者の方々もいると思うが、支援を考えているか。

答 産業振興課長

いわゆる買物難民に対する町の対策については、平成29年度に、町商工会と連携し、自治会加入世帯を対象に買物に関するアンケートを実施した。そのアンケートと、高齢者福祉の視点を基に、商工会で実行委員会、事業者懇談会を開催して、移動販売など町内商店活性化のための新しいビジネスプラン作成に向けた協議を進めた経緯があるが、事業の実現化に至らなかったものと承知している。

町としては、現在、買物弱・困難者の対応の一つのツールとして、高齢者等外出支援策としてタクシー利用助

成事業、また移動販売に関しては、民間事業者一者が既に町内で活動されている。

また、今年に入ってから、地域のスーパーなどから町内で移動販売業に参入したい旨のお話をいただいているところである。

移動販売を起業したい移住者等への支援については、新たに起業する個人事業者や団体について継続性や妥当性が認められた場合、長柄町創業支援補助金や町づくり活動運営費補助金の支援策があるので、そちらを活用いただきたい。

地域商店の活性化と買物弱者・困難者の対策は、互いにバランスの取れた施策の構築が必要であり、町商工会、地域商店、そして町と協力が不可欠なもので、互いに連携協力して町民の買物環境への対応を図りたい。



池沢 俊雄 議員（一問一答方式）

月岡新町長の選挙公約の「子育て千葉県一を目指す」「安心安全な町づくり」のうちで質問する。

1. 公園・キッズルームの整備について

問 議員

具体的な内容について説明願う。

答 町長

子育て世代の方々が子供を遊ばせながら交流する場がないという多くの声を聞いた。そこで、「子育て千葉県一を目指す」上の理念として掲げた。町有地を活用するなど新しい公園や施設を整備することができないか、改めて具体的に町民の声を聴く機会を設けながら、今後の検討課題として取り組んでいく。

問 議員

公園の場所は、どこを想定しているか。

答 町長

旧昭栄中の跡地を想定している。こども園と連携して、公園ができるよう考えていた。

問 議員

キッズルームはどういう目的のものか。

答 町長

新公民館ができて、学童が始まる前に、集まってコーヒーでも飲んで話せるような場所という考えでいた。

2. 子育て祝い金について

問 議員

子育て祝い金支給（出産入園、小中高の入学時）の具体的な内容は。

答 町長

町は、子育てスタート支援金支給事業として、ゼロ歳児と一歳児の保護者へ支援金を支給している。これをさらに充実させるため、祝い金として

て出産や入園、学校の入学に際し支給できないか、できる限り早期に具体的な検討をしたい。

問 議員

一年間に出産、入園、小中高校への入学者は何人程度いるか。

答 企画財政課長

約150名と捉えている。

問 議員

一人二万円としても150万円程度の財源である。長く検討する必要はないと考えるが。

答 町長

まず、こども園、小中学校の給食費の無償化を進めていきたい。その後に子育て支援金について、検討しながら進めていく。

3. 自然災害に強いまちづくりについて

問 議員

具体的な内容は。

答 町長

県は、流域治水を令和11年

度末までに計画的に推進するため、一宮川流域治水協議会を設置し、一宮川流域浸水対策特別事業や一宮川上流域支川における浸水対策等に資することとしている。

町としても、長柄町部会を設置し、できることは何かを提案したい。

本年4月に、長柄町浸水計画区域に関する条例を制定し、建築ルールを設けるとともに、営農と維持管理が行われている水田の田んぼダムとしての機能や、ため池の洪水調節機能について、検証を行っているところである。加えて、遊休農地の有効活用について検討したい。

4. 前町長の指名を受けての今後の町政運営の方針について

問 議員

①長柄町特産飲料の製造販売は来年度以降も継続するか。
②千葉大学との連携による事業成果をどのように感じてい

るか。
③地方創生総合戦略のCCR事業計画を今後も継続させるか。

答 町長

①本事業の効果を検証しながら、その結果を踏まえて判断する。

②目に見えるものではなく、移住ガイドブックの作成、高速バス、長柄町特産飲料「ながら」とガラナ いろはにはへとがある。ソフト的な部分として、人材育成、大学の知的資源を生かした研究に基づく政策立案、関係人口の創出とある。長柄町の不足を補完する。大事な部分と認識している。
③引き続き長柄町版大学連携型生涯活躍のまち構想の実現に向けて取り組む。

高橋 智恵子 議員（二問一答方式）

1. 長柄町における「教育」意識について

問 議員

学校教育に求める意識、期待について、どのように捉えているか。

答 学校教育課長

心の教育や人権教育の推進、学力向上について、社会の決まりやルールを守る指導の推進、体力向上、部活動について、体験活動の充実などが求められている。

問 議員

失敗しても立ち直って成長できる力、自分の力で道を切り開く力を育むには、いろいろな体験をしていくことが必要かと思うが、農業体験以外に、学校で行っている体験学習はあるか。

答 学校教育課長

コロナ禍等により、体験活動が制限されてきたが、徐々

に体験活動が再開されてきている。今後は町だけではなく、県内の状況等も鑑みながら、有効な体験活動を模索していきたい。

問 議員

「小1プロブレム」「中1ギャップ」「学校嫌い」など問題は起きているか。また、不登校生徒の状況について。

答 学校教育課長

小学校では、こども園などから引継ぎを行い、各校で組織的な対応を行っており、元気に登校している。中学校では、入学後に欠席が多くなった生徒が数名見られる。「学校嫌い」については、

昨年度の児童・生徒のアンケート等から、小学校、中学校ともにほとんどの児童・生徒が楽しく登校していることが分かる。

不登校の児童・生徒の状況

は、小学校では一学期が終了した段階で30日以上欠席している児童はいなかった。中学校では数名見られる。

問 議員

こども園でそういったことを防ぐ手段として、どのようなことに取り組んでいるか。

答 こども園長

小学校との引継ぎの前に、就学前保護者面談を実施している。必要に応じて小学校または教育委員会と連携をして、保護者支援を行っている。また、現在はコロナ禍で実施できていないが、小学校の生活にスムーズに入れるように、今まで小学校との交流を実施してきている。

問 議員

中学校ではどのような対応をしているか。

答 学校教育課長

子供たちと面談する機会を多く設けている。また、悩み相談箱を設置しており、誰でも入れられるような相談体制、相談しやすい先生方の雰

囲気等を作っている。

問 議員

ICTを用いた授業の進捗状況について

答 学校教育課長

各小中学校では一人一台タブレット型端末や電子黒板を活用しての授業を創意工夫して進めている。機器の操作も慣れてきて、スムーズに活用できる教員も増えている

問 議員

小学校ではタブレットをどれぐらいの目安に使っていくことを目標にしているか。

答 学校教育課長

目標は設けていないが、使わない日はない。

問 議員

電子黒板の利用状況や使い方はどのようにされているか。

答 学校教育課長

理科で言えば、実験の操作をするときに、器具のポイントについて大きな黒板で指示することができると。様々な工夫をしている。

問 議員

近年のPTA活動に対する保護者の意識の変化があるか。

答 学校教育課長

変わらず意識も高く、非常に協力的であると思っています。

問 議員

保護者が学校を訪れる機会は、どういったものがあるか。

答 学校教育課長

授業参観や奉仕作業、PTAの役員においては、いろいろな活動をしていただいている。

問 議員

PTA会議等をオンライン化しているところもあるようだが、長柄町はどのような声はないか。

答 学校教育課長

オンラインはまだ実施していない。今後可能か検討していきたい。

第2回臨時会

令和4年第2回臨時会は、10月26日に開催されました。
提出された議案等は、議案1件、同意2件です。

第2回臨時会 議案等審議結果一覧

議案名	議員名	結果				佐久間 繁英	神崎 清美	高橋 智恵子	岡部 弘安	鶴岡 喜豊	池沢 俊雄	三枝 新一	本吉 敏子	星野 一成	柴田 孝	古坂 勇人
		議結	決果	賛成	反対											
議案第1号 令和4年度長柄町一般会計補正予算 (第5号)		原可	案決	10	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
同意第1号 副町長の専任につき同意を求めること について		原不	案同	4	6	無記名投票による採決										—
同意第2号 教育委員会委員の任命につき同意を求 めることについて		原同	案意	10	0	無記名投票による採決										—

※ ○…賛成、×…反対、欠…欠席、退…退席、除…除斥、議長は裁決に加わらないため「—」で表示

補正予算

議案第1号 令和4年度長柄町一般会計補正予算(第5号)

予算現額に6,912万9千円を追加し、補正後の予算総額を43億6,392万円とするものです。

主な内容は、国から追加の地方創生臨時交付金が示され、小中学校やこども園の給食費無償化に取り組むとともに、医療機関や介護サービス事業所等に対し、各施設の規模に応じた支援金の交付、さらに8月に補正予算の専決処分を行った全町民への地域応援券6千円に今回2千円の上乗せを行うものです。

また、国の施策として、電力やガス、食料品等の高騰に対し、非課税世帯や家計急変世帯へ5万円の給付金を追加交付するものです。

人事案件

同意第1号 副町長の専任につき同意を求めることについて

現職の田中 武典氏が本年10月31日で任期満了となるため、新たに山根 義弘氏を副町長に選任したく同意を求めるものです。

同意第2号 教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて

現職の篠田 孝行氏が本年11月10日で任期満了となるため、引き続き教育委員に任命することに同意を求めるものです。